

公務員の非正規の再任用が拒否された！ ブラック企業で 残業代がでない！ ユニオンに相談してください！

2015/4/1...4月

サポートユニオン withYOU

567-0816 茨木市永代町 4-212(阪急茨木市駅)

072-655-5415

<http://www.withyou2011.com>

withyou2011@mail.zaqq.jp

サポートユニオンだより

仕事で疲労困ぱいになっている人に仕事を休もうと言おうよ

・ 3月13日「過労死防止センター大阪」の設立総会の場で、全国の過労死遺族たちの思いを代表する、すばらしい詩が紹介されました。「ストップ！ 過労死 100万人署名」の署名用紙にも載せられていた、父親を過労自殺で亡くした、当時小学校1

年生だった「マー君」の「僕の夢」という誌です。わずか数行の詩の中に込められた遺族の思いを、過労死問題の本質を感じとられずにはおられません。

〈ぼくの夢〉

大きくなったら ぼくは博士になりたい

そしてドラえもんに出てくるような タイムマシンをつくる

ぼくはタイムマシンにのって

お父さんの死んでしまうまえの日に行く

そして「仕事に行ったらあかん」っていうんや

5-10 (日) withYOU 第5回総会 14:00~ ローズWAM

今年も中京大学の**大内裕和**さんから奨学金制度の現状とブラックバイトのお話しを聞き、関西学生アルバイトユニオンのスタッフから、何をめざすのか、地域のユニオンとどのようなネットワークができるのかを探りながら、「若者の貧困」に焦点をあて、市民参加の総会で議論を深めたいと思います。

▼ユニオンは結成5年目をむかえました。▼介護、小売業、サービス業などのさまざまな職場の非正規の労働相談や団体交渉をはじめとして、「子どもの貧困」の連鎖を断ち切るために「ひとり親家庭の子どもの学習支援」の運動にとりくんできました。▼また、地域コミュニティーの核として『慰安婦』問題」「集団的自衛権・特定秘密保護法反対」「教科書問題」の運動をすすめてきました。▼前年度の総会では、中京大学の**大内裕和**さんから「奨学金問題の現状」を学び、関西大学

の学生たちと「奨学金問題のパンフレット」を作成し情宣してきました。▼今年の総会でも、「奨学金制度はどのようにあるべきなのか」、「ブラックバイトが横行する現状をどのように風穴を開けるのか」など、具体的に掘り下げていきたいと思っています。▼ユニオンの総会ですが、多くの市民の参加で成功させたいと思っています。



【イチローではなくチームで成果を上げる仕事を(記念講演から)】



・レーニン「未来は青年のためにある」といい、カストロは「人間にとって重要な資本は金ではない 人間こそが資本だ」と言った。

・うつ病は自殺の最大原因は「夜型生活スタイル」にある。眠っても疲れが取れない人が4人に1人もいる。毎日の残業がその原因だ。寝不足と遅い夕食が「心臓病・糖尿病・高血圧」を発症し、心と体の疲れが取れない状態が続き、不定愁訴にはじまり「うつ病」へと進行し過労死、過労自死につながっていく。

・全社員にイチローをしいてきた屈強な海兵隊ですら病気は避けられない。

・個人プレイのイチローではダメだ。企業全体で効率を上げるというスタイルに変えなくてはならない。成績主義が過労死を招くと言っても過言ではない。

・うつ病は自己評価を下げ、会社に迷惑をかけ、みんなに迷惑をかけているというマインドコントロールを取り除かなければいけない。自己中心で過剰な自信家のパワハラ上司、仕事は部下へ丸投げ、成功は自分に、失敗は部下へという悪循環を断ち切らなくてはならない。

・社員の健康は企業の宝である。うつ病を理由に解雇はできない。3年の復職支援でうつ病の回復は80%以上だ。1ヶ月で安定するので最初のサポートが大切だ。

・それではどんな職場がいいのか。一人ひとりが植木等のようにいい加減、仕事が生きがいでは無く、人生を楽しむために働く、そして、失敗が許される職場、愚痴が言える職場が大切だ。

サポートユニオンwithYOU メルマガ

4/18(土) <共生社会ジャーナル> 18:00~20:00 ローズWAM 405 参加費 500円

「ヤマケンの学習会 ・ 偽ブランド大阪「都」構想を斬る！」

山本健治さん(ジャーナリスト・元大阪府会議員)

▼現存する24区を5つの特別区に再編して大阪府に吸収させようとする構想に「都」になる幻想を植え付けて住民投票が行われようとしています。▼さまざまな思惑が渦巻く中で、公明党を巻き込み、安倍首相に至っては、憲法改正をにらんで維新を引き込むために、国民投票の予行演習と住民投票を持ち上げています。投票前1ヶ月に迫り、もう一度「都」構想の狙いを確認して、反対の意思表示を拡散させていきたいと思います。ヤマケンの学習会に参加ください。



4/25(土) <土曜シアター> 18:00~19:30 ユニオン事務所 試写会500円

「小さき声のカノン」 (鎌仲ひとみ監督/2015年/119分)

▼東京電力福島原発事故から4年。事故による影響は安全である・危険であるといった議論からこぼれ落ちる声が存在している。それは不安な気持ちを抱えたお母さんたちの声だ。▼かつてチェルノブイリ原発事故を経験したベラルーシでは、子どもたちに何が起きたのか、お母さんたちはどうやって子どもを守ろうとしたのか？福島とチェルノブイリとの時間差は25年、今なおその影響が続いていることは、実は知られていない。日本のお母さんたちと同様、不安を抱いたお母さんたちが大きな声に流されることなく、直感にしたがって子どもたちを守る道を探し続けている。▼事故の衝撃に立ちすくみ、ただ困惑している時期は過ぎた。希望を具体的につくり出す新しいステージに今、私たちは立っている。迷いながらも日本のお母さんたちが自分たちの意志で動き始めた。そんなお母さんたちの小さな声が、国境を越えて響き始める。



過労死をいっそうすすめる残業代ゼロ法案反対

はじめは一部の専門職を、そして次は、すべての労働者を対象にする悪法です